

BUSINESS REPORT

第88期 報告書

2017.4.1 ▶ 2017.12.31

市光工業株式会社





当連結会計年度における我が国経済は、外需は世界経済の拡大で堅調に推移し、内需も株高基調などを背景にした国内消費の持ち直し、好調な設備投資需要、低金利による住宅着工などから、緩やかな回復傾向を示しました。海外経済については、北米は雇用指標や企業業績が堅調であり、中国およびアセアンなどの新興国も含め、総じて景気は堅調に推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内の自動車生産台数は、前年に生じた熊本地震による生産停止などの反動から、前年同一期間比で増加となりました。アセアンの自動車生産台数は、タイが前国王死去後の買い控えが収束したことによる内需の回復などから前年同一期間比で増加となったことを主因に、アセアン3カ国合計では前年同一期間比で増加となりました。なお、インドネシアの自動車生産台数は前年同一期間並み、マレーシアの自動車生産台数は国内販売の不振から前年同一期間比で減少となりました。また、中国の自動車生産台数は、堅調な国内経済に支えられ、前年同一期間比で増加となりました。

このような環境のもと、当社グループの当連結会計年度における業績は、好調な国内受注増やアセアンの海外子会社の業績回復を主因に前年同一期間比で増収増益となりました。他方、当社がヴァレオの連結子会社となったことに伴い在庫評価方法を一部見直し、追加的な評価損を計上しました。この結果、当連結会計年度において、売上高は94,070百万円（前年同一期間比14.5%増）、営業利益は3,971百万円（前年同一期間比45.9%増）、経常利益は4,660百万円（前年同一期間比52.2%増）、また親会社株主に帰属する当期純利益は3,792百万円（前年同一期間比7.2%増）となりました。

また、配当につきましては、当社は株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題と考えており、長期的な見通しを視野に入れ、安定的で継続的な配当を行うことを基本方針としております。

平成29年12月期の配当につきましては、中間配当は1株当たり2円50銭といたしましたが、期末配当につきましては、平成29年10月1日から平成29年12月31日の3ヶ月の対象期間に対し1株当たり1円50銭とし、年間配当金を4円とさせていただきます。

代表取締役社長 Heiko Sauer (サワー ハイコー)



連結財務ハイライト

売上高	94,070百万円
営業利益	3,971百万円
経常利益	4,660百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	3,792百万円
配当	
期末配当	1円50銭

次期の見通し

平成30年12月期の業績予想につきましては、国内外の自動車生産の見通しは不透明な状況にありますが、前年同一期間比では、売上高は国内受注が堅調に推移していることなどから増収、利益面につきましても国内の増収影響や海外子会社の更なる収益改善を図ることなどにより増益を見込んでおります。

平成30年12月期の業績は、売上高は133,000百万円、営業利益は7,300百万円、経常利益は8,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6,100百万円を予想しております。

平成30年12月期の配当に関しましては、年間配当金を1株当たり5円とし、中間配当金、期末配当金とも1株当たり2円50銭とさせていただきます予定です。

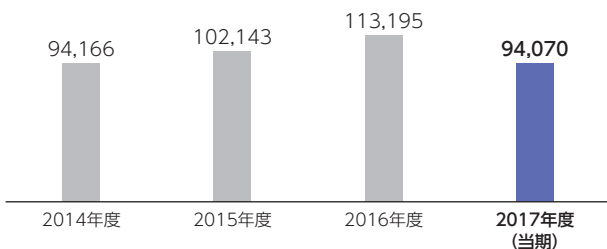
株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務の推移

(注) 2017年度は4月1日から12月31日の9ヶ月間になっております。

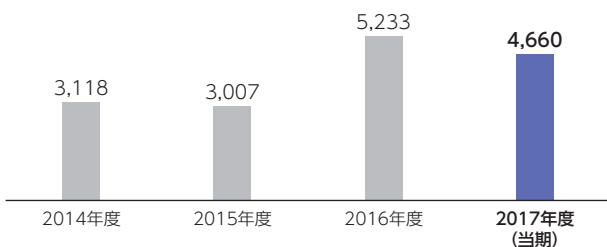
売上高

(単位：百万円)



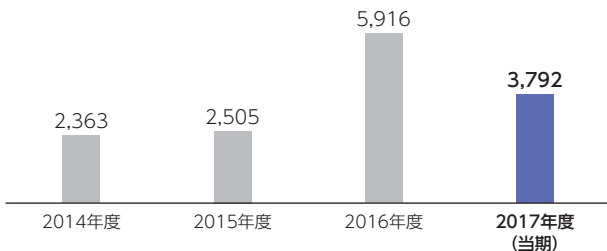
経常利益

(単位：百万円)



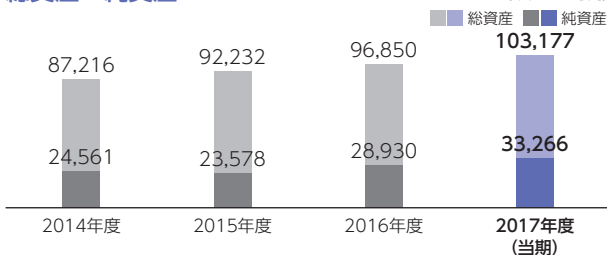
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



総資産・純資産

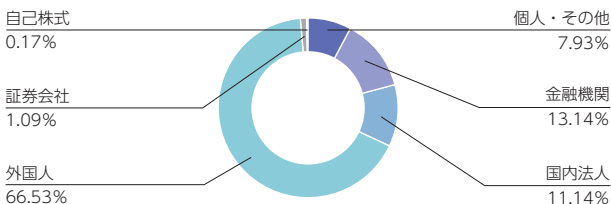
(単位：百万円)



株式の状況 (2017年12月31日現在)

発行済株式の総数	96,225,501株
発行可能株式総数	200,000,000株
株主数	5,163名

所有者別分布状況 (株式数)

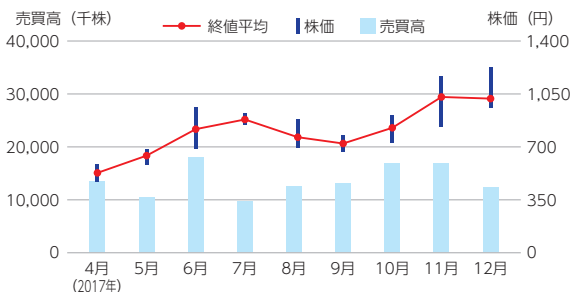


大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヴァレオ・パイエン	52,922 千株	55.09 %
トヨタ自動車株式会社	5,869	6.11
株式会社みずほ銀行	4,775	4.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,882	4.04
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.82
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	1,430	1.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,274	1.32
日本生命保険相互会社	1,040	1.08
三協株式会社	930	0.96
MORGAN STANLEY & CO. LLC	851	0.88

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (161,925株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、3,882千株であります。

株価および株式売買高の推移



(要約) 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2017年12月31日	前連結会計年度 2017年3月31日
資産の部		
流動資産	47,229	44,115
固定資産	55,948	52,734
有形固定資産	39,662	38,074
無形固定資産	1,852	2,119
投資その他の資産	14,433	12,541
資産合計	103,177	96,850
負債の部		
流動負債	47,611	42,480
固定負債	22,299	25,439
負債合計	69,911	67,919
純資産の部		
株主資本	31,840	28,788
その他の包括利益累計額	69	△1,114
非支配株主持分	1,356	1,256
純資産合計	33,266	28,930
負債及び純資産合計	103,177	96,850

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2017年4月1日から 2017年12月31日まで	2016年4月1日から 2017年3月31日まで
売上高	94,070	113,195
売上原価	75,153	89,587
売上総利益	18,917	23,607
販売費及び一般管理費	14,945	18,798
営業利益	3,971	4,809
営業外収益	1,278	1,200
営業外費用	590	776
経常利益	4,660	5,233
特別利益	23	1
特別損失	128	321
税金等調整前当期純利益	4,555	4,913
法人税等	704	△1,055
当期純利益	3,850	5,969
非支配株主に帰属する当期純利益	58	52
親会社株主に帰属する当期純利益	3,792	5,916

(注) 1. 2017年度は4月1日から12月31日の9ヶ月間になっております。
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2017年4月1日から 2017年12月31日まで	2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,029	13,029
投資活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△4,745	△8,758
財務活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△6,545	△9,643
現金及び現金同等物に係る換算差額 (△は減少)	162	△269
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,099	△5,642
現金及び現金同等物の期首残高	11,522	17,164
現金及び現金同等物の期末残高	9,422	11,522

(注) 1. 2017年度は4月1日から12月31日の9ヶ月間になっております。
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第二世代日産リーフに採用！

「ダイレクトレンズユニット」搭載のヘッドランプ

ICHIKOHは2017年10月に発売されました日産自動車株式会社の第二世代日産リーフのヘッドランプを初代に引き続き採用されました。車両の進化に伴うように、ヘッドランプも最新の技術を応用した次世代型の製品として実現しました。

核となる要素技術は、当社初となる「ダイレクトレンズユニット」です。同じくLEDを光源とする、従来のリフレクターと丸型プロジェクターレンズの組み合わせによる光学系の構成に対し、LEDとレンズだけのシンプルな構成になります。

「ダイレクトレンズユニット」に用いられるレンズは“多段レンズ曲面”といわれる表裏共に複雑な曲面形状を持ったレンズです。光学系構成の変化に伴い、部品点数の削減とコンパクト化が実現し、ユニットレイアウトの自由度が向上しました。

また、技術的なイノベーションは、ヘッドランプに宝石のような輝きと量感をもたらし、新鮮な外観を実現しました。さらに配光性能的にも、均一でワイドな拡散配光により、明るさと視認性を確保することができました。

デザイン・設計・配光・法規・成型・組立・コスト等の要件を満たし、量産に至るまでの諸課題を解決し、最適なバランスでお客様にご提供することをサプライヤーの喜びとして今後とも挑戦を続けてまいります。



日産リーフ

第45回東京モーターショー出展

HD Lighting（高解像度ヘッドランプ）等を展示

ICHIKOHは、2017年10月25日から11月5日まで開催された第45回東京モーターショーに前回に引き続き出展しました。2小間から4小間へ拡大したブースには、OEM製品展示に加え体験型の先進ヘッドランプシステムや次世代のカメラ・モニターシステム等を展示しました。

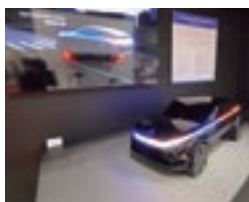
中心となるHD Lighting（高解像度ヘッドランプ）は、将来の自動運転を視野に入れたもので、高輝度の光源を使用し、電子デバイスによって高解像度化された、全く新しい概念のヘッドランプです。

ハイビーム時に、対向車や歩行者に対して最小限の範囲で照射を制限し、より多くの路面を照らし視界を向上させるグレアフリーハイビーム機能や、路面にナビゲーション表示、車線表示、標識表示、歩行者表示さらに歩行者に対して横断を促す横断歩道表示等を行う多機能ロービームを備えています。ヘッドランプの“照らす”という基本機能に加えて、ドライバーや歩行者に対して適切な情報を伝える機能を付加した次世代ヘッドランプです。今回は運転席のモックアップに大画面のディスプレイを組み合わせた展示を行い、ヘッドランプの進化を来場者に擬似体感していただきました。

また、自動運転時に右左折や後退等の車両の動き（意思）を、周囲のドライバーや歩行者に光やサインで伝えるコミュニケーションライティングのコンセプトを映像と車両のスケールモデルによって提案しました。その他実用化が始まったカメラモニターシステムや3Dサラウンドマルチビュー等を紹介し、ICHIKOHのミッションである「『照らす』・『映す』で、安全・安心・快適なドライビング環境を創造する」という世界の一端を表現させていただきました。



HD Lighting（高解像度ヘッドランプ）



コミュニケーションライティング

会社概要 (2017年12月31日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,957,636,703円
従業員数	連結 3,998名 (1,538名) 単体 1,822名 (965名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

本店 〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地
TEL 0463 (96) 1451 FAX 0463 (96) 2080

事業所

本社・テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店	〒465-0025 愛知県名古屋市長区上社4-130 TEL 052 (709) 2011
東京事務所	〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-19 TEL 03 (6866) 5831
太田営業所	〒373-0851 群馬県太田市飯田町1245-1 TEL 0276 (59) 1815
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3 TEL 06 (6384) 6551
札幌営業 (アフターマーケット部)	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-2-2 TEL 011 (232) 0654

取締役および監査役 (2018年3月27日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	サワー ハイコー
取締役	宮下和之
取締役	中野秀男
取締役	白土秀樹
取締役	ヴィラット クリストフ
取締役	ティヴォアヨン ブルーノ
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
社外取締役	青松英男
社外取締役	デルマス ベルナル
常勤監査役	橋本寿来
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで (第88期は4月1日から12月31日までの9ヶ月)
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日 (第88期は9月30日)
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株 ※平成29年10月1日から100株に変更になっております。

●住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。

<http://www.ichikoh.com/>



ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

